



ALPS

ECONOMY

>>> 家庭経済

家計のお悩み解決のヒント 第3回

突然のがん。家計にどう影響？ どう備える？

がんの備えというと、「がん保険」をイメージされる人も多いのではないのでしょうか。昨今、がん保険はがんと診断されたら50万円、100万円というような診断給付金以外にも、治療する月ごとに給付金が下りるなどバリエーションも増えていますが、あくまで公的な制度の補完的な役割であり、備えの一つという位置づけです。

がんへの備えは社会保障、職種、資産状況、家族構成、家計の状況により人それぞれ異なります。看護師を経験したFPとして、現在がん患者さんとご家族からの家計相談を専門に行う筆者が、がんになった時のお金の悩みの実例をもとに、健康ないま、不安なく過ごせるための制度の情報や備えについてお伝えします。

「がんになったらお金がかかる」 の実例

国立がん研究センターの『がん統計』によれば、いまや2人に1人が、一生のうち

にがんを経験する時代です。身近な病気となりつつあり、インターネットでは治療や費用についての情報が増えています。しかし、家計相談では「がんになった。治療費はどの位かかるのか不安」という声が後を絶たず、がんにかかる費用に関しての情報不足を常にかけています。

突然高額な医療費がかかるのは、希少ながんや見つかった段階でかなり進行していたため、公的医療保険の適用外の治療を行う場合などです。安全性や有効性が明らかになっている標準治療を選択される場合は、公的医療保険の適用となるため、医療費自体は月ごとの一定額までに収まります。

がん治療にかかる医療費は、①公的医療保険の適用となる医療費、②保険診療費以外の費用、③治療に関連した費用の3つに分かれます。まずはこの3つの費用を整理してまいります。

①公的医療保険の適用となる医療費

公的医療保険では、70歳未満は医療費の

3割を自己負担しますが、1カ月当たりの負担が高額になった場合、一定の上限を超える額は高額療養費としてまかなわれます【図表1】。その上限額は年齢や収入によって決まり、平均的な収入【図表2】にも掲載している高額療養費の所得区分で「ウ」の方の場合は約9万円です。

そして直近12カ月の間に3回以上高額療養費の対象になった場合、4回目以降はさらに自己負担限度額が引き下がる「多数回該当」というしくみもあります【図表2】。この高額療養費制度を活用することで、医療費自体はかなり抑えられます。

公務員や一部の会社員は高額療養費に「付加給付」がついている場合や、自己負担限度額がさらに引き下げられる可能性があります。例えば、所得区分「ウ」の方でも上限が3万円と設定されていると約9万円から差額の6万円が健康保険組合や共済から戻ってくるというものです。

「〇〇がんは〇〇万円かかる」という情報



看護師 FP®
黒田 ちはる

【くろだ・ちはる】CFP®。10年間の看護師経験を活かしたファイナンシャルプランナーとして、がん患者さんとご家族を専門とした家計相談を行う。著書は「がんになったら知っておきたいお金の話 看護師FPが授ける家計、制度、就労の知恵」（日経メディカル開発）。



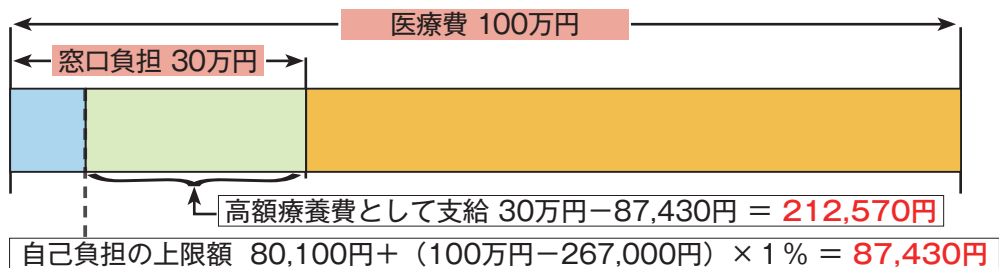
>>> 家計のお悩み解決のヒント

【図表1】高額療養費制度とは

高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った額（※）が、ひと月（月の初めから終わりまで）で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

※入院時の食費負担や差額ベッド代等は含みません。

<例> 70歳以上・年収約370万円～770万円の場合（3割負担）
100万円の医療費で、窓口の負担（3割）が30万円かかる場合



212,570円を高額療養費として支給し、**実際の自己負担額は87,430円**となります。

出典：厚生労働省保険局「高額療養費制度を利用される皆さまへ（平成30年8月診療分から）」より抜粋して作成

【図表2】高額療養費制度の多数回該当

過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。

<69歳以下の方の場合>

	所得区分	本来の負担の上限額	多数回該当の場合
ア	年収約1,160万円～の方	252,600円＋（医療費－842,000円）×1%	140,100円
イ	年収約770万～約1,160万円の方	167,400円＋（医療費－558,000円）×1%	93,000円
ウ	年収約370万～約770万円の方	80,100円＋（医療費－267,000円）×1%	44,400円
エ	～年収約370万円	57,600円	44,400円
オ	住民税非課税者	35,400円	24,600円

出典：厚生労働省保険局「高額療養費制度を利用される皆さまへ（平成30年8月診療分から）」より抜粋して作成

も目にしますが、実際は【図表3】のように同じ部位のがんで同じ治療を行ったとしても、人により1カ月当たりにかかる医療費が変わります。高額療養費制度を利用する機会の多いがん治療だからこそ起きているのが、この費用負担の違いです。まずはご自身の高額療養費の自己負担限度額を

知ることが大事です。
②保険診療費以外の費用
病院でかかる費用のうち、公的医療保険が適用されない費用には、以下のものがあります。
●紹介状がない場合の大病院の初診時負担金（5000円以上）

【図表3】乳がんで分子標的薬ベジニオを服薬している3人の比較（3割負担で15万円／月の場合）

	給料・高額療養費の区分	1カ月あたりの上限
Aさん	給料30万円の方 （高額療養費の所得区分「ウ」）	約9万円 （多数回該当で約5万円）
Bさん	給料20万円の方 （高額療養費の所得区分「エ」）	約6万円 （多数回該当で約5万円）
Cさん	給料30万円の方 （高額療養費の所得区分「ウ」だが、健康保険組合や共済で独自の付加給付あり）	約3万円

●文書料
●先進医療費
●個室差額ベッド代（平均8018円※厚生労働省中央社会保険医療協議会「主な選定療養に係る報告状況」令和元年7月1日現在 1人室1日当たり平均徴収額より）
●病衣代
●食事代
●セカンドオピニオンの費用（診断や治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に求めること）

先進医療には、がん治療の重粒子線治療や陽子線治療があります。約200(300万円と高額なので、効果を期待されている方もいますが、効果や安全性を科学的に確かめている段階なのです。つまり、有効性が認められれば先進医療から標準治療となります。今年4月にも一部のがんが標準治療となりました。

③ 治療に関連した費用

病院以外でがん治療に関連した費用としては、以下のものがあります。

- 交通費（治療後、疲労により公共交通機関が利用できず、自家用車を利用した時のガソリン代や駐車場代、タクシー代）
 - 宿泊費（遠方の病院へ通院の場合）
 - 乳がん、子宮がん、卵巣がんなどのリンパ浮腫予防の弾性スリーブ、ストッキング（申請により療養費の支給あり）
 - 人工肛門のパウチ（身体障害者手帳取得による給付は自治体や所得によって異なる）
 - ウィッグ（抗がん剤で脱毛の副作用がある場合に使用。自治体によって助成金あり）
- これらの費用は、自身の仕事や生活スタイルに合わせ、使い勝手や質を考えていくことにより、最小限に留めることが可能です。自治体での取り組みを確認し、助成金などをうまく利用していきましょう。

ここまででは医療費関連を説明してきましたが、がん患者さんやご家族にとって大きな悩みの一つである収入減について、触れていきたいと思います。

働く世代は医療費以外に「収入減」も大きく影響

がんになる確率は加齢に伴って高まりますが、働く世代も無関係ではありません。先述の『がん統計』によれば、がん患者の約3人に1人が20～69歳の働く世代なのです。がん治療中は合併症や薬の副作用など体調の変化により、働き方を変えざるを得ない方もいます。

東京都福祉保健局『東京都がん患者の治療と仕事の両立に関する調査報告書』（令和4年1月）によると、がん患者のうち55・1%の方が新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、職場でテレワーク・時差出勤制度・フレックスタイム制度等の柔軟な働き方が導入・推進されたと回答しており、がん治療中の復職環境の変化を感じます。

しかし、筆者が相談を受けている中で、復職のハードルを高く感じることがあります。それは、テレワークを導入していない職場があったり、接客業や運送業、建築業、エッセンシャルワーカーなどの職種で現場に出ることを復職の条件としているのをよく目にするためです。

国はがん治療と仕事の両立支援に力を入れていますが、職場環境や職場の風土によって、治療と仕事の両立への対応に差が見られるのが現状です。

がん治療には医療費の負担だけでなく、職場環境や職種次第で、働き方の変更によ

る収入減についても考えていかなければなりません。

お金の悩みが原因で治療に影響が出ることも

収入減は医療費の支払いだけでなく、いまの生活を支えるお金にも影響を及ぼします。国立がん研究センター『患者体験調査』（平成30年度）によると、病院で医療を受けるために必要な金銭的負担が原因で行った経済的負担への対応は、「食費や医療費を削る」「受診の延期、中断」「借金」「家や土地、車の売却」「家族の進学先の変更・転校」など多岐にわたります。

がん患者さんのつらさは、【図表4】のように様々なつらさがそれぞれ影響し合っている「全人的苦痛（トータルペイン）」と呼ばれています。

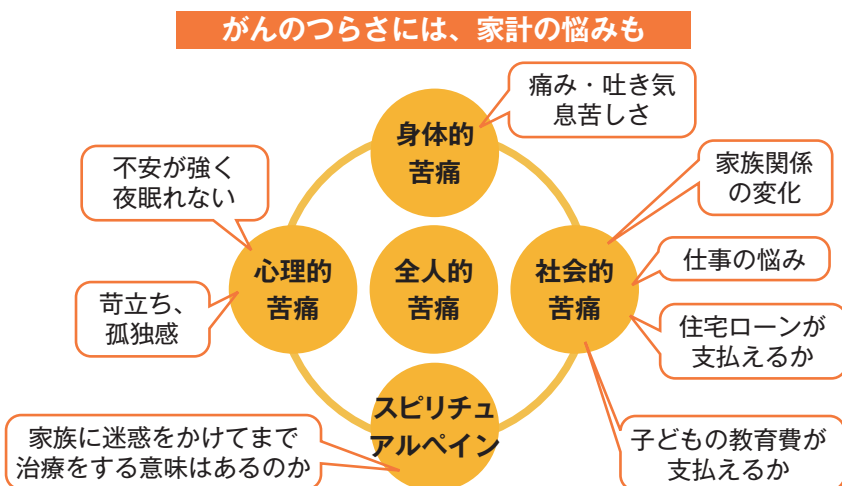
「住宅ローンが払えない」「子どもの進学費用が出せない」といったお金の悩みは、申し訳なさや誰にも話せない孤独感といった心のつらさに現れます。心のつらさが強くなると、身体をつらさを感じやすくなることや、治療に専念できなくなることもあります。『患者体験調査』によると、「治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがある」と4・9%の方が回答しています。

こういったつらさは、ご家族全員が健康なうちにしっかりと備えておくことで、未然に防ぐことも可能です。



>>> 家計のお悩み解決のヒント

【図表4】 がんの全人的苦痛（トータルペイン）



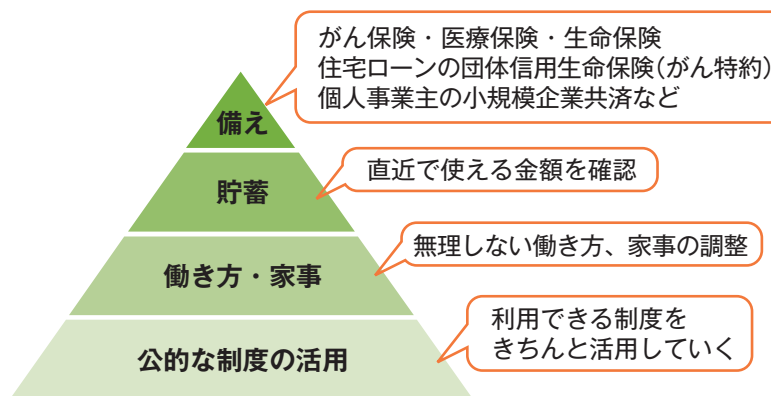
適切な公的制度の活用なしに
備えは不可能

医療費を最小限に抑え、働けない期間の収入源を確保するために、公的な制度の活用は欠かせません。生活の安定だけでなく、備えておいた貯蓄やがん保険の給付金を長持ちさせる効果もあります【図表5】。

公的な制度の代表的なものとして、前述の公的医療保険の高額療養費制度に加え、がん患者さんが多く利用している「傷病

【図表5】 がん治療で働けない期間への対応策

働けない時、まずは制度の活用から



手当金」、そして長期治療となった場合の「障害年金」があります。

高額療養費制度の活用のポイントは、「限度額適用認定証」と「世帯合算」です。高額療養費制度は、病院窓口で一旦医療費の3割（69歳以下の方の場合）を支払い、高額療養費を申請して、約3カ月後に自己負担限度額を超えた分が戻ってくるしくみです。そこで「限度額適用認定証」を病院窓口に提示すると自己負担限度額までの支払いとなり、立替払いをせずに済みます。治療が決まったら、始まる前に健康保険証に記載されている保険者に問い合わせ、発行

手続きをするとういでしょう。

複数の病院での受診や同じ病院での入院・外来、そして家族（同じ医療保険の方）の受診が2万1000円以上負担されている場合、1カ月ごとに世帯合算することができます。これが「世帯合算」で、再計算され一定額を超えていると、払い戻しを受けられるしくみになっています。

「傷病手当金」は会社員・公務員の方が病気やけがのために仕事を休み、事業主から十分な報酬が受けられない場合に支給される制度です。休職して3日間待機の後、4日目からおおむね給与の3分の2が最長1年6カ月支給されます。今年から通算化となり、使った分だけカウントされるようになります。自営業（一部の国民健康保険組合の方は除く）や専業主婦、扶養内パートの方や学生の方は利用できません。

「障害年金」は、病気やけがによって生活や仕事などが制限される場合に、現役世代の方も含めて受け取ることができる年金で、がん患者さんも申請されています。初診日（がんについて初めて診察を受けた日、診断日ではありません）から1年6カ月経過した時などの状態で審査されます。ただし、年金保険料の未納により支払い要件を満たしていない場合は、申請できません。万一に備え、「ねんきん定期便」などで年金保険料の支払い状況を確認しておくとう安心です。障害者手帳と混同しやすいのですが、障害者手帳は福祉サービスで、税金やサービス

【図表6】 がん保険以外に
備えとなるもの

- 医療保険：他の疾患や、がん治療による二次的な疾患にも対応できる
- 住宅ローンの団体信用生命保険の特約：住宅購入、借り換えの際は金利差や残債により手数料を超えるメリットがあれば検討の余地あり
- 小規模企業共済：自営業の退職金の代わりとして、緊急時の借り入れなどにも活用できる
- 所得補償保険：自営業などは働けない時に傷病手当金の代わりとなる
- 学生支援機構の給付型奨学金・授業料免除制度：大学・専門学校の受験や在学中に親ががんなどで収入減となった際、子どもが利用できる



執筆者の本

『がんになったら知っておきたい
お金の話 看護師FPが授ける家計、
制度、就労の知恵』

黒田 ちはる 著

【日経メディカル開発刊、2019年1月、
1,650円】

の優遇を受けることができる制度です。これらの公的な制度はしくみが難しく、ご自身で申請しなければ利用できません。しかし、いま全てを理解することができなくても、確認できる窓口さえ知っておけば申請漏れを防ぐことは可能です。がんになった際には病院の「がん相談支援センター」や健康保険証に記載の保険者、公的年金の窓口で確認することができます。

収入の大小ではなく、 経済的に困るかどうかが重要

夫が会社員や公務員で公的な制度や職場の体制により備えが十分なのに、扶養内パートで働く妻の備えが不十分というケースは少なくありません。がんの備えの必要度は、「働けなくなった時や家事育児が難しくなった時に経済的に困るかどうか」と生活レベルで考えていくことが重要です。

会社員や公務員は休職中も傷病手当金が

利用できます。さらに職場で休職や復職への体制が十分に整えられている場合、個人で備える必要度は低くなるでしょう。職場に就業規則があれば、年次有給休暇の日数や病気休暇の有無、時短勤務、時差出勤、フレキシブルな制度などを確認することができます。

扶養内パートで働く妻は夫の収入に基づく高額療養費の区分となり、夫の収入次第では医療費が高くなりますが、傷病手当金は利用できないため、「費用はかかるけれど収入が減る」ということが起きます。そうすると、教育費や住宅ローンのために妻が働いていた場合、家計の負担はさらに大きくなります。

家事・育児の担い手である妻が、がん治療中に体調が悪くなった時、家族や親族、地域のサポートが難しいと、外食やスーパーの総菜の利用が増え、育児サポートへの費用がかかります。

月々の収入の中で、がんの備えに回せる金額には限度があります。かかる費用を最小限にするという意味では、日ごろから夫婦で家事・育児の協力体制を整えていくことも備えの一つと言えます。ネットスーパーや地域の育児サポートの情報収集も役立ちます。

備えは、必要な内容に合わせて 多面的に

冒頭でもお伝えしましたが、がん保険は

備えの中の一つです。診断や治療状況に合わせて給付されれば確かに助かりますが、全てをまかなえるものではありません。家族構成や働き方、資産状況や家計の状況に合わせて多面的に備えましょう【図表6】。

これから住宅ローンを組まれる方は、団体信用生命保険の特約を検討されると良いでしょう。「がん」と診断されたら「働けない期間が1年間経過したら」と各種定められた条件で返済免除となります。住宅ローンの負担が無くなることで、安心して治療に専念できている方も増えていきます。

「家計の強化」は 大きな備えとなる

さまざまな公的制度を活用してもがんの治療費はゼロにはなりませんし、収入も少なからず減ります。

緊急時に使える貯蓄も確かに必要ですが、健康な時に、家計のやりくりの土台を構築しておくことは、がんだけでなく突発的な出来事が起きた際にも収入減に耐え得る強い家計となります。

いくら備えをしていても、赤字家計や借金を抱えていると返済に回ってしまい、困窮する家庭を多くみかけます。普段からローンの借りすぎには注意しておくことも重要です。そして、いざ病気になると家族でも気兼ねしてお金のことを話しくくなることがあるので、普段から家計について話し合える関係づくりが大事です。